

小田原総合ビジネス高校及び大和南高校にて

物流出前授業を実施しました

経営改善委員会の事業計画に基づき、10月21日（金）県立小田原総合ビジネス高等学校において、トラック運送業界に興味をもってもらうことを目的とした体験型の物流出前授業を実施しました。

当日は、普通科3年生36名の生徒を対象に実施され、飯沼委員長より「トラック運送業界では、皆さまに直接関わりがある日用品や食料品、災害時の緊急物資搬送を行うなど大変社会への貢献性が強い業界であるので、是非とも興味を持って頂きたい。また、就職に先立ち、少なくとも普通免許は取得して頂きたい。更には、来年3月に道路交通法が改正され、準中型免許が新たに新設されるので、是非ともこちらまで取得されたい」と挨拶及び業界の説明がされました。

次いで、小田原地域の会員事業者の方の協力もあり、大型バルクローリー・中型冷蔵車・中型ウイング車の計3台のトラックを学校の敷地内に持ち込み、授業に参加した生徒達はトラック運転席に試乗。各社のトラックの構造などにも大変興味を示しておりました。



また、10月25日（火）には、県立大和南高等学校におきても同様の物流出前授業を実施しました。

この日は、1年生から3年生までの各クラス的生活委員の生徒達が参加し、大型バルクローリー、大型平ボディ車・中型ハイブリッド車の計3台のトラックに試乗し、各種運転免許やフォークリフト資格について熱心に質問するなど、当業界に大変興味を持って頂けました。

